

一般社団法人日本健康・栄養システム学会 特別研修会 地域高齢者の「食べること」を支援する栄養ケアチーム研修会

目的：地域包括ケアシステムの一環として地域高齢者の「食べること」の支援を担う栄養ケアチームを担うことのできる専門職を育成することを目的とする。

主催 一般社団法人 日本健康・栄養システム学会

後援(予定) 東京都各専門職団体

公益社団法人 全国老人福祉施設協議会 社団法人全国老人保健施設協会

一般社団法人 日本慢性期医療協会

対象：医師、歯科医師 看護師、保健師 管理栄養士 薬剤師 介護福祉士 介護支援専門員 言語聴覚士 理学療法士 作業療法士 歯科衛生士 経営管理者 地域包括支援センター職員、行政担当者等

➤ 1日目：高齢者の栄養ケアチームのための基礎

日時 平成23年5月14日(土) 10:00～17:30

高齢者の栄養ケアチームのための基礎

場所 日本歯科大学 〒102-8159 東京都千代田区富士見 1-9-20

地図 <http://www.ndu.ac.jp/access/index.html>

定員 210名(先着順)

■ 1日目免除者について

以下に該当する方は1日目免除されますので、2日目に参加してください。

- ・平成22年度厚生労働省老人保健事業推進等補助金(老人保健健康増進等事業分) 高齢者の食べることを支援する効果的な栄養・食事サービスの確保に関する調査研究高齢者の「食べること」を支援するための栄養ケアチーム指導者研修会参加者(福岡、静岡、札幌、東京会場)
- ・一般社団法人日本健康・栄養システム学会 臨床栄養師資格取得者及び研修生
- ・平成22年5月に開催された高齢者の食べることを支援する栄養ケア・マネジメント参加者(東京医科歯科大学)

➤ 2日目：地域高齢者の栄養ケアチームの展開

日時 平成23年5月15日(日) 10:00～17:35

場所 昭和女子大学グリーンホール

〒154-8533 東京都世田谷区太子堂 1-7

地図 <http://office.swu.ac.jp/campusmap/>

地下鉄 東急田園都市線（半蔵門直通）三軒茶屋下車 徒歩7分

バス 渋谷駅から下記方面行 昭和女子大学下車

定員 500名(先着順)

- 2日間（1日目の免除者は2日目のみ）修了者に、修了証を差し上げるとともに、今後の学会による研修に参加する場合に相当時間の対象とさせていただきます。免除者以外の参加者は2日間参加できることを条件といたします。

- 臨床栄養師継続研修単位 20単位

- 費用：2日間：10,000円 1日間（免除者）6,500円
教材を含めます。両日ともお弁当のご用意はありません。

- 教材：

1日目：平成22年度厚生労働省老人保健健康増進等事業高齢者の食べることを支援する効果的な栄養・食事サービスの確保等に関する調査研究 報告書に基づく教材等

2日目：地域高齢者の「栄養ケアチーム」指導者研修会新教材

- 申し込み方法：参加申込は下記のメール info@j-ncm.com で受け付けを行います。

メールには、【地域高齢者研修希望】と必ず記載し、①1日・2日のどちらかを記載①所属施設種（一般病院、診療所・療養病床、特養・老健・通所介護・通所リハ・訪問看護ステーション・訪問介護・・・事業所等の別）②施設名 ③連絡先の〒番号、住所、電話、FAX、メール番号 ④参加者氏名 ⑤④の職種を記載してください。⑥1日免除者は免除理由（栄養ケアチーム指導者研修会参加・臨床栄養師・5月東京医科歯科研修会の別）を記載してください。同じ施設で参加者が複数の場合には、同一メールに記載してお申し込みください。定員になるまで、順次受付番号をご返信致します。

FAXでも受け付けますので、任意用紙に上記をご記載頂き **046-828-2663** にお送り下さい。

- 申し込み期間：平成23年3月19日～平成23年5月

- 登録手続き：受付番号を受けとった方は、直ちに郵便局からお振込みください。

郵便振り込み先：00190-9-408852

講座名義：一般社団法人 日本健康・栄養システム学会

☆ 通信欄に、必ず【地域高齢者研修会 1 日間 あるいは 2 日間】と記載してください。

お振込みが確認されましたら受付番号が登録番号になります。研究会当日は、必ず振込用紙(複写でよい)をご持参ください。申込期間以降は、全て当日受付とさせていただきます。振込後に参加を取り消された場合にも、テキストをお送りさせていただきますが、ご返金はありませんのでご了承ください。

➤ プログラム

■ 1 日目 (5 月 14 日 土曜日)

高齢者の「食べること」を支援する栄養ケアチームのための基礎

司会：梶山女学園大学教授 加藤昌彦・聖路加看護大学准教授 梶井文子

会場大会長：日本歯科大学教授 菊谷武 副大会長 同助教 三橋扶佐子

運営担当：神奈川県立保健福祉大学教授杉山みち子・三橋扶佐子

10:00～10:05 開会のご挨拶 理事長 岐阜大学名誉教授 武藤泰敏

I 高齢者の「食べること」を支援することの大切さ

10:05～10:50(45分)

夢の長寿社会の実現のために

ーチームで支える居宅高齢者の「食べること」の大切さー 名古屋学芸大学学長 井形昭弘

10:50～12:20 (90分)

高齢者の臨床栄養(1) 低栄養状態を知ろう 梶山女学園大学教授 加藤昌彦

高齢者の臨床栄養(2) 経管栄養法と口から食べることの移行・維持のために

梶山女学園大学教授 加藤昌彦

12:20～13:20 食事

13:20～13:50 (30分)

II 高齢者の「食べること」の支援に参加するために 栄養ケア・マネジメントのポイント

神奈川県立保健福祉大学教授 杉山みち子

II. 高齢者の認知症・摂食嚥下障害・エンド・オブ・ライフと栄養ケア・マネジメント

13:50～14:35 (45分)

認知症高齢者の栄養ケア・マネジメント

神奈川県大和市健康福祉部健康づくり推進課 田中和美

14:35～14:45 休憩

14:45～15:30 (45分)

摂食嚥下障害を有する高齢者の栄養ケア・マネジメント 静岡県立大学教授

合田敏尚 (予定)

15:30～16:15 (45分)

エンド・オブ・ライフにおける栄養ケア・マネジメ

聖路加看護大学准教授 梶井文子

16:15～16:25 休憩

16:25～17:25

座長

日本歯科大学教授 菊谷 武

質疑応答

講師全員

17:25～17:30

2日目スケジュール等の説明

御挨拶

日本歯科大学教授 菊谷 武

■ 2日目 (5月15日 日曜日)

地域高齢者の「食えること」を支援する栄養ケアチームの展開

司会 千葉大学大学院看護研究科教授 野地有子

昭和女子大学教授

大木和子

研修大会長 大木和子

運営担当 杉山みち子

10:00～10:05 研修大会長挨拶

10:05～11:35

I 地域高齢者の「食えること」を支援するための栄養ケアチームの実際と管理栄養士の
居宅栄養ケア・マネジメント

地域栄養ケア PEACH 厚木 江頭文江

11:35～12:25 食事

12:25～14:25

II 地域高齢者の「食えること」を支援するための栄養ケアチームの事例

1. 認知症・摂食・嚥下障害の取り組み事例 (事例説明 15分 討論 45分)

社会福祉法人同胞互助会 愛全診療所・居宅療養管理指導

佐藤悦子

2. エンド・オブ・ライフの事例 (事例説明 15分 討論 45分)

東京ふれあい医療生協梶原診療所

奥村真理子

座長 野地有子

討論者

恒川幸子 東京ふれあい医療生協 梶原診療所 医師

山川治 甲斐歯科医院院長 前橋赤十字病院 摂食・嚥下・胃腸外来 歯科医師

小暮和歌子 東京ふれあい医療生協 ふれあい訪問看護ステーション所長
看護師・介護支援専門員

飯田 まり子 東京ふれあい医療生協 梶原診療所介護相談センター主任介護支援専門員

橋本 愛 訪問言語リハビリ「ことのは」代表 言語聴覚士

14:25～14:35 休憩

14:35～16:20

Ⅲ. 地域高齢者の「食べること」を支援するための栄養ケアチームの展開のための
課題解決と展開に向けての討議

司会 小山秀夫

医療・介護サービスの連携について

野中医院院長

野中 博

ケアマネジメントとの連携について

日本介護支援専門員協会会長

木村隆次

チーム構築の課題と解決について

神奈川県立保健福祉大学教授

太田貞司

地域ケアシステムと人材育成について

兵庫県立学大学院教授

小山秀夫

16:20～16:30 休憩

16:30～17:30

Ⅳ. 「食べること」を支援するための口腔・嚥下機能の評価と栄養ケアチーム

日本歯科大学教授

菊谷 武

17:30～17:35 閉会の挨拶

名古屋学芸大学学長

井形昭弘